

酸素モニター(OXY-1-M) 簡易マニュアル

- この酸素モニターは電源スイッチを備えておりません。背面の電池カバー内に単4電池を装着すると酸素モニターの電源が自動で入ります。使用後もその状態のままで問題ございません。



【測定前の確認方法】

- ご使用前に大気中に酸素モニターを3分以上放置し、酸素濃度値が **20.5%~21.3%** であることを確認してください。
- 上記の範囲を表示しない場合は「CAL」ボタンを1回押して校正を行い、表示が範囲内にあることを確認してください。

【ケージ内の酸素濃度を測定する方法】

- ケージ内に酸素モニターを入れて約10分~20分お待ちください。
 - ※ 目安となる測定時間は小型ケージで約10分、中型ケージで約20分です。
 - ※ 測定中、ケージ扉など開閉部の開け閉めはしないでください。正しい酸素濃度が測定できません。
 - ※ 酸素モニターはケージの外から酸素濃度表示部（測定値）が確認できる位置に設置してください。ケージ内であれば、どの位置でも測定値に大差はありません。
- 必要に応じて、酸素モニターを設置し、ケージ内の酸素濃度を確認してください。
- 測定後は必ずケージ内から酸素濃度計を取り出してください。**本品は精密機械のため、水濡れは故障の原因となります。

【ホース・マスクから出ている酸素の濃度を測定する方法】

- ホースの先端を酸素モニターの濃度検知部に密着させて測定してください。
- マスクを使用している場合は、必ずマスクを外してホースの先端で測定してください。正しく測定できません。

【電池交換の方法】

- 電池寿命表示のアイコンが**残り1目盛り**になった場合には速やかに電池を交換してください。
- 酸素モニター背面の電池カバーを外して、2本とも新しい単4アルカリ電池に交換してください。
- 交換の際、極性（プラス・マイナス）を間違わないように注意してください。



【取扱い上の注意】

- 振動の激しい場所や傾いた場所、不安定な場所には置かないでください。落下によるケガや破損の原因になります。
- 分解、改造はしないでください。
- 結露、水滴がつく可能性のある場所では使用しないでください。
- 標高の高い場所で使用した場合、測定値が正しくない場合がありますのでご注意ください。
- 破損や故障が生じた場合には、修理費用を請求させていただく場合があります。